

令和6年度 第55回長野市障害者スポーツ大会 開催要領

1 目的

障害者が、このスポーツ大会を通じて相互の親睦と交流を深め、スポーツ愛好者の拡大を図るとともに、障害者スポーツの推進に寄与することを目的とする。

2 主催

長野市障害者スポーツ大会実行委員会

(構成団体：長野市、長野市障害者スポーツ協会、(福)長野市身体障害者福祉協会、長野市手をつなぐ育成会、長野市肢体不自由児者父母の会)

3 後援(予定)

(福)長野市社会福祉協議会、(福)長野市社会事業協会、(公財)長野市スポーツ協会、長野市陸上競技協会、(公財)長野県障がい者スポーツ協会、長野県障がい者スポーツ指導者北信地区協議会、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、INC長野ケーブルテレビ、FM長野、FMぜんこうじ、長野市民新聞社、週刊長野新聞社(順不同)

4 協力

清泉女学院大学・短期大学、長野保健医療大学、大原簿記情報ビジネス医療専門学校・スポーツ公務員専門学校、CSネットワーク長野、長野市スポーツ推進委員協議会、シンコースポーツ(株)(順不同)

5 日時

令和6年5月19日(日)

陸上競技	受	付	8:30 ~ 9:00
		開始式・準備体操等	9:00 ~ 9:10
	競	技	9:40 ~ 11:40
水泳競技	受	付	9:00 ~ 9:25
		開始式・競技上の注意等	9:40 ~ 9:50
	競	技	9:50 ~ 10:40

6 会場

長野市営長野運動公園総合運動場

陸上競技：陸上競技場

水泳競技：総合市民プール(アクアウイング、25mプール)

7 競技区分等

- (1) 大会競技種目及び障害区分は、別紙「長野市障害者スポーツ大会競技種目一覧表」のとおりとする。
- (2) 競技への出場は、1人1種目とする。
- (3) フライングディスクは、アキュラシー競技とする。
- (4) 障害が重複している場合は、重い障害区分による種目での出場することとする。
- (5) 競走競技のうち、視覚障害者の50m走は音源、その他は伴走によるものとする。
- (6) 砲丸投では男子(知的)のみ4kgの砲丸を使用し、それ以外は2.72kgを使用するものとする。

8 競技規則

- (1) 大会の競技規則は、全国障害者スポーツ大会競技規則集（（公財）日本パラスポーツ協会編）及び長野市障害者スポーツ大会留意事項による。
- (2) 水泳競技におけるチャレンジクラスの参加者は浮具を使用できるものとする。

9 参加資格

長野市在住の12歳以上（令和6年4月1日現在）で、障害者手帳の所有者か、市内の障害者支援施設・特別支援学校に在籍する者

10 参加申込

参加希望者は、別紙「長野市障害者スポーツ大会参加申込書」を大会事務局へ提出する。

※申込期限：令和6年4月8日（月）午後5時必着【厳守】

（FAXの場合は送信確認の電話をお願いします。）

11 申込書の取り扱い（個人情報）及び肖像権に関する留意事項

- (1) 大会中の参加者の肖像権は主催者に属するものとする。
- (2) 申込書の個人情報については、十分管理を行い他に漏れないようにする。
- (3) 申込書については、「長野市障害者スポーツ大会」のためのみに使用し、他の目的には使用しないものとする。
ただし、「長野県障がい者スポーツ大会」開催通知の送付のために使用できるものとする。
- (4) 大会中に撮影された写真は、主催者の判断において長野市障害者スポーツ協会のホームページ及び協会だより等に使用することがある。

12 健康・安全管理

- (1) 大会中の事故については、主催者で応急処置は行うが、それ以外の責任は一切負いません。競技の参加に際しては健康状態を十分に把握し、個人の責任において参加すること。
- (2) 選手については主催者において傷害保険に加入する。ただし、内科疾患などによる入院等については保険の適用はされない。

13 大会事務局

〒380-0904 長野市大字鶴賀276番地10

長野市障害者スポーツ協会内

電話・FAX（共通）266-8834

14 その他

- (1) 雨天等の場合は大会を中止することがある。
- (2) 競技の際の服装は、ランニングシャツ、トレーニングパンツ、運動靴等運動可能な服装とし、必ず背中及び胸部にナンバーカード（ゼッケン）を付ける。ただし、水泳競技は除く。

長野市障害者スポーツ大会競技種目一覧表

競技種目		障害区分	肢 体								視覚 ※		聴 覚	知 的	内 部	
			切 断		機 能				脳 原 生 麻 痺	脳 原 生 麻 痺 で 車 い す	脳 原 生 麻 痺 以 外 で 車 い す	視 力 0 から 0.01 まで				そ の 他 の 視 覚 障 害
			片 上 肢	両 上 肢	片 下 肢	両 下 肢	片 上 肢	両 上 肢								
陸上競技の部	競 走	30m							○	○	○					○
		50m	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	
		100m	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
		400m	○		○							○	○	○		
		1500m	○		○							○	○	○		
	跳 躍	立幅跳	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
		走幅跳	○		○				○	○			○	○	○	○
		走高跳	○		○									○	○	
	投 て き	砲丸投	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ソフトボール投	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ジャベリック スロー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	フライングディスク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
水泳競技の部	自由形	チャレンジ クラス25m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		25m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平泳ぎ	25m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	背泳ぎ	25m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		50m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	バタフライ	25m	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
50m		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

(注) 1 各種目とも男女別とする。

2 水泳競技ではチャレンジクラス以外は浮具の使用はできない。

※視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。視力0から0.01までの者は次のとおりとする。

- ・陸上競技：光を通さないアイマスク又はアイシェードを装着する。
- ・水泳競技：光を通さないゴーグルを装着する。